

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52506	施設実習指導 I Instruction for Practical Training I (Welfare Facilities)	谷村 和秀 石川 博章	専門	1	選択	1年 後期 2年 前期
科目の概要						
この科目は実習に当たって、その心構えや具体的な知識を含めたオリエンテーション、保育現場で求められる実技指導、福祉施設へ行く前の事前指導と実習後の個別指導などから構成されている。						
学修内容			到達目標			
①保育実習及び施設実習 I の意義と目的 ②施設実習を行う種別の概要を学ぶ ③実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について学ぶ ④実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法を学ぶ ⑤実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標			①保育実習及び施設実習 I の意義と目的を理解する。 ②実習の実施施設の概要を理解し、自らの課題を明確にする。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	一度始めたことは最後までやり切ることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現できる。				
	傾聴力	人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:「学外実習の手引き」 愛知学泉短期大学幼児教育学科 「保育士をめざすための児童福祉施設実習」 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 児童家庭福祉、社会的養護、社会的養護内容、発達心理学、保育所実習、施設実習1 資格との関連: 保育士						
学修上の助言			受講生とのルール			
・ 今までに学んだことや実習で体験したことを振り返りながら、実習に臨む。			・実習を行うにあたって、実習先の希望等、多くの書類の提出を求めるがその際の提出期限は厳守する。 ・実習に先立って行う事前指導をきちんと受けない学生は、この科目が受験できないことになるので注意する。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	90	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	①施設種別・障がいに関する調べ学習(10点×3回=30点) ②先輩からの実習体験報告を聞いての感想(10点) ③施設職員による実習の心得を聞いての感想(10点) ④実習で学びたいことの提出(10点) ※ 決められた期限内に提出しないと評価しない
成果発表 (口頭・実技)			
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	(主体性) 課題を取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修することができたか。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 (発信力) 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規則性) ・授業開始から15分以内に入室した者は遅刻(減点0.5点)扱いとする。 ・授業開始から15分を超えて入室した者は欠席扱い(減点1点)とする。 ※但し、公共交通機関の遅延による遅刻については遅刻及び欠席扱いしない。(遅延証明書を提出すること) ・許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。
その他			・実習前に5回欠席すると、施設実習Iを行うことができない。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①保育実習及び施設実習Iの意義と目的を理解する。 ②実習の実施施設の概要を理解し、自らの課題を明確にする。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 ⑥総合評価90点以上はS(秀)、89～80点をA(優)とする	①保育実習及び施設実習Iの意義と目的を理解する。 ②実習の実施施設の概要を理解し、自らの課題を明確にする。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 ⑥総合評価79～70点とする。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	保育実習及び施設実 習 I の概要を学ぶ	講義	・授業の流れについて理解 できる ・施設実習の位置づけにつ いて理解できる ・実習方法を理解できる	(予習) シラバスを読む	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2回 /	実習施設(養護系施 設)及び専門職を学ぶ	演習	・実習を行う福祉施設の利用 者について、理解する	(予習) ・養護系施設について調 べる ・専門職について調べる	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3回 /	・施設実習(障がい児 者施設)及び障がいを 学ぶ	演習	・実習を行う福祉施設のサー ビス内容及び職員について 理解する	(予習) ・障がい系施設について 調べる ・障がいについて調べる	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4回 /	実習施設、専門職、障 がいについて学ぶ	講義	・実習を行う福祉施設のサー ビス内容及び職員について 理解する	(復習) ・実習施設、専門職、障 がいについてまとめる	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5回 /	生活支援(食生活、住 生活)について学ぶ	講義	・施設での利用者の生活に おける支援を理解する ① 食生活 ② 住環境の整備	(予習) ① 食の意味を調べる ② 掃除の方法を調べる	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6回 /	生活支援について(衣 生活)について学ぶ 学習支援について学 ぶ	講義・演習	・施設での利用者の生活に おける支援を理解する ① 衣生活 ② 学習支援	(予習) ① 洗濯・アイロンの方法 を調べる ② 学習の目的を調べる	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7回 /	・先輩による実習体験 報告を聞いて、実習課 題を考える	演習	・実習種別ごとに実習内容に ついて理解する	(予習) 先輩に質問を考えておく (復習) 実習体験報告の感想文 を作成する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8回 /	・施設職員による実習 の心得を聞き、実習課 題を考える (ゲストスピーカー)	講義	・児童福祉施設で実習を行 うにあたっての心得を理解 する	(予習) 施設職員に質問を考え ておく (復習) 施設職員による実習の	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9回 /	実習連絡票・出席簿・誓約書などの実習書類を作成する	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先を知り、グループのメンバーを確認する ・リーダー決め、連絡網を作成する ・実習に必要な書類を作成する ・実習費納入について理解する 	(予習) ・実習連絡票に貼る写真を用意する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10回 /	<ul style="list-style-type: none"> ・事前指導について ・事前指導報告書の地図の作成 ・細菌検査についての説明 	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録ノートの配布 ・インターネットなどを使用して、最寄りの駅から施設までの地図を作成する ・細菌検査について理解する 	(予習) ・配属された実習先までの通う方法を確認する ・事前オリエンテーションで、実習を行うにあたって確認しなければならない項目を確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11回 /	<ul style="list-style-type: none"> ・実習で学びたいことや記録の書き方を学ぶ 	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習で学びたいこと及び記録の書き方を理解できる 	(予習) ・配属された施設について、調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12回 /	<ul style="list-style-type: none"> ・事前オリエンテーションを受ける 	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、実習先の施設に訪問し、施設の説明、実習における諸注意などを理解する 	(予習) 事前指導を受けるにあたって、確認することを確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13回 /	<ul style="list-style-type: none"> ・注意事項の説明を受ける(直前指導) 	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・実習における注意事項を理解する ・所感「実習を終えて」の配布 	(予習) 巡回担当教員と実習の打ち合わせをしておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14回 /	実習反省会に参加し、実習を振り返る(グループ)	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回担当教員ごとに集まり、反省会を行う(全教員担当) 	(復習) 行った実習内容を整理しておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15回 /	実習反省会に参加し、実習を振り返る(個別)	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員と反省会を行う(個別：谷村担当) 	(復習) 行った実習内容を整理しておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52507	施設実習指導Ⅱ Instruction for Practical Training Ⅱ (Welfare Facilities)	谷村 和秀	専門	1	選択	2年後期
科目の概要						
この科目は実習に当たって、その心構えや具体的な知識を含めたオリエンテーション、保育現場で求められる実技指導、福祉施設へ行く前の事前指導と実習後の個別指導などから構成されている。						
学修内容			到達目標			
①保育実習及び施設実習Ⅱの意義と目的			①保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。			
②実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。			②実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。			
③保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。			③保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して把握する			
④保育士の専門性と職業倫理について学ぶ			④保育士の専門性と職業倫理について理解する。			
⑤実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を学ぶ。			⑤実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	一度始めたことは最後までやり切ることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現できる。				
	傾聴力	人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:「学外実習の手引き」 愛知学泉短期大学幼児教育学科 「保育士をめざすための児童福祉施設実習」						
参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:児童家庭福祉、社会的養護、社会的養護内容、発達心理学、保育所実習、施設実習1 資格との関連:保育士						
学修上の助言			受講生とのルール			
・今までに学んだことや実習で体験したことを振り返りながら、実習に臨む。			・実習を行うにあたって、実習先の希望等、多くの書類の提出を求めますがその際の提出期限は厳守する。 ・実習に先立って行う事前指導をきちんと受けない学生は、この科目が受験できないことになるので注意する。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験				
小テスト				
レポート	80	①	✓	①施設種別に関する調べ学習(20点) ②先輩からの実習体験報告を聞いての感想(20点) ③施設職員による実習の心得を聞いての感想(20点) ④実習で学びたいことの提出(10点)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	✓	(主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 (発信力) 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 (規則性) ・授業開始から15分以内に入室した者は遅刻(減点0.5点)扱いとする。 ・授業開始から15分を超えて入室した者は欠席扱い(減点1点)とする。 ※但し、公共交通機関の遅延による遅刻については遅刻及び欠席扱いしない。(遅延証明書を提出すること) ・許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他			・実習前に5回欠席すると、施設実習Ⅱを行うことができない。	
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。 ②実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。 ③保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して把握する ④保育士の専門性と職業倫理について理解する。 ⑤実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。⑥総合評価90点以上はS(秀)、89～80点をA(優)とする	①保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。 ②実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。 ③保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して把握する ④保育士の専門性と職業倫理について理解する。 ⑤実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。 ⑥総合評価79～70点とする。

回数	学習・教育内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	保育実習及び施設実習Ⅱの概要を学ぶ	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れについて理解できる ・施設実習の位置づけについて理解できる ・実習方法を理解できる 	(予習) シラバスを読む	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2回 /	実習施設(養護系施設)及び専門職を学ぶ	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を行う福祉施設の利用者について、理解する 	(予習) ・養護系施設について調べる ・専門職について調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3回 /	・施設実習(障がい児者施設)及び障がいを学ぶ	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を行う福祉施設のサービス内容及び職員について理解する 	(予習) ・障がい系施設について調べる ・障がいについて調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4回 /	実習施設、専門職、障がいについて学ぶ	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を行う福祉施設のサービス内容及び職員について理解する 	(復習) ・実習施設、専門職、障がいについてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5回 /	生活支援(食生活、住生活)について学ぶ	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・施設での利用者の生活における支援を理解する ① 食生活 ② 住環境の整備 	(予習) ① 食の意味を調べる ② 掃除の方法を調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6回 /	生活支援について(衣生活)について学ぶ 学習支援について学ぶ	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・施設での利用者の生活における支援を理解する ① 衣生活 ② 学習支援 	(予習) ① 洗濯・アイロンの方法を調べる ② 学習の目的を調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7回 /	・先輩による実習体験報告を聞いて、実習課題を考える	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習種別ごとに実習内容について理解する 	(予習) 先輩に質問を考えておく (復習) 実習体験報告の感想文を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8回 /	・施設職員による実習の心得を聞き、実習課題を考える(ゲストスピーカー)	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉施設で実習を行うにあたっての心得を理解する 	(予習) 施設職員に質問を考えておく (復習) 施設職員による実習	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

回数	学習・教育内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
9回 /	実習連絡票・出席簿・誓約書などの実習書類を作成する	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先を知り、グループのメンバーを確認する ・リーダー決め、連絡網を作成する ・実習に必要な書類を作成する ・実習費納入について理解する 	(予習) ・実習連絡票に貼る写真を用意する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10回 /	<ul style="list-style-type: none"> ・事前指導について ・事前指導報告書の地図の作成 ・細菌検査についての説明 	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録ノートの配布 ・インターネットなどを使用して、最寄りの駅から施設までの地図を作成する ・細菌検査について理解する 	(予習) ・配属された実習先までの通う方法を確認する ・事前オリエンテーションで、実習を行うにあたって確認しなければならない項目を確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11回 /	・実習で学びたいことや記録の書き方を学ぶ	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習で学びたいこと及び記録の書き方を理解できる 	(予習) ・配属された施設について、調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12回 /	・事前オリエンテーションを受ける	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、実習先の施設に訪問し、施設の説明、実習における諸注意などを理解する 	(予習) 事前指導を受けるにあたって、確認することを確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13回 /	・注意事項の説明を受ける(直前指導)	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・実習における注意事項を理解する ・所感「実習を終えて」の配布 	(予習) 巡回担当教員と実習の打ち合わせをしておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14回 /	実習反省会に参加し、実習を振り返る(グループ)	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回担当教員ごとに集まり、反省会を行う(全教員担当) 	(復習) 行った実習内容を整理しておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15回 /	実習反省会に参加し、実習を振り返る(個別)	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員と反省会を行う(個別：谷村担当) 	(復習) 行った実習内容を整理しておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力